

6. 教育

6-1. 学生状況

1. 入学者数及び出身地

入学年度	入学者数	出身地		出身校	
		県内	県外	県内	県外
2022年度	80	78	2	78	2
2023年度	76	72	4	73	3
2024年度	80	76	4	70	10

2. 在学者数

2024. 5. 1 現在

学年	年初在籍			退学				途中休学		
	学生総数	男子	女子	退学数	退学率	男子	女子	休学数	男子	女子
1年生	80	27	53	0	0.0%	0	0	0	0	0
2年生	76	18	58	6	7.9%	1	5	0	0	0
合計	150	44	106	6	4.0%	1	5	0	0	0

6-2. カリキュラム

令和4年4月以降入学者

教育課程および授業時間数

衛生専門課程 美容師科

1時限 = 50分

美容師科（昼）					
授業科目	必修・選択の別	1年次	2年次	授業時間数 合計	単位数 合計
		時間数	時間数		
関係法規・制度	必修	30	0	30	1
衛生管理	必修	60	30	90	3
保健	必修	60	30	90	3
化粧品化学	必修	30	30	60	2
文化論	必修	30	30	60	2
美容技術理論	必修	60	90	150	5
運営管理	必修	30	0	30	1
美容実習	必修	270	630	900	30
専攻（ヘアスタイリスト/ヘアメイク）	選択（専門）	60	30	90	3
サロンワーク	選択（専門）	120	60	180	6
メイクアップ	選択（専門）	90	0	90	3
トータルビューティ	選択（専門）	90	30	120	4
カウンセリング	選択（専門）	60	0	60	2
デッサン	選択（一般）	30	0	30	1
I T	選択（一般）	0	30	30	1
必修科目 授業時間数		570	840	1410	47
選択科目 授業時間数		450	150	600	20
卒業に必要な総授業時間数		1020	990	2010	67

6-3. 進級・卒業の要件（成績評価評価方法含む）

進級・卒業の要件

規定するすべての課目を履修した学生を卒業とする。また進級については1年次すべての課目を履修すること。

当校の定める成績と厚生労働省の定める美容師養成施設の卒業要件を満たしていると判断できるものに卒業の認定を授与する。また、年2回の定期試験を実施するとともに進級時、卒業時に校長、副校長、教務主任などによる判定会議において決定する。

成績評価方法

- ・各学年の学期毎（前期・後期）に行います。
- ・①出席率、②定期試験や小テスト、③平常点（提出物・作品等の制作物・授業参加意欲など）などに基づいて総合的に行います。
- ・5段階評価（S評価～D評価）により行います。

成績評価基準

成績	出席率	定期試験・小テスト	平常点
S 評価	100%	特に優れている	特に優れている
A 評価	95%以上	優れている 以上	優れている 以上
B 評価	90%以上	普通 以上	普通 以上
C 評価	67%以上	やや劣る 以上	やや劣る 以上
D 評価	C 評価の基準を満たしていない場合		

※定期試験・小テストの点数基準は教科課目のシラバスで表記する。

※定期試験を実施しない科目については、出席率と平常点にて評価する。

成績評価ポイント換算表

S 評価	A 評価	B 評価	C 評価	D 評価
5	4	3	2	1

単位時間数ポイント換算表（学期毎）

～30 時間	31～60 時間	61～90 時間	91～120 時間	121～150 時間	151～180 時間
1	2	3	4	5	6
181～210 時間	211～240 時間	241～270 時間	271～300 時間	301～330 時間	331～360 時間
7	8	9	10	11	12

GPA 評価 計算式

$$\text{成績評価ポイント} \times \text{単位時間数ポイント} = \text{課目評価係数}$$

$$\text{全課目合計 評価係数} \div \text{全科目合計 単位時間数ポイント} = \text{成績評価係数 (評定平均)}$$

計算例

課目	評価	成績評価 P (a)	単位時間数 P(b)	(a)×(b)
関係法規・制度	A 評価	4	1	4
美容技術理論	C 評価	2	2	4
衛生管理	B 評価	3	1	3
美容実習	A 評価	4	3	12
運営管理	C 評価	2	1	2
			8	25

$$\text{全科目合計 評価係数 } 25 \div \text{全科目合計 単位時間数 } 8 = \text{成績評価係数 } 3.13$$

※小数点第3位を四捨五入する。

令和5年度 成績の分布

令和5年度（前期）成績の分布						
学科名	美容師科		学年	1年	学生数	76
成績の分布						
GPA	～2.5	2.51～3.0	3.01～3.5	3.51～4.0	4.01～4.5	4.51～5.0
人数	3	10	11	31	16	5
下位1/4に該当する人数				19人		
下位1/4に該当するGPA				3.25		
平均値				3.64		

6-4. 美容師国家試験結果

	対象者	受験者	合格者	合格率
2021年度	55	55	55	100.0%
2022年度	61	61	56	91.8%
2023年度	72	72	70	97.2%

6-5. 卒業後の進路

1. 卒業後の進路状況

卒業年度	卒業生数	就職状況							進学等		
		就職希望	内定数	卒業生就職率	分野		勤務地		進学	留学	その他
					関連分野	分野外	県内	県外			
2021年度	55	54	54	98.2%	54	0	37	17	0	0	1
2022年度	61	61	58	95.1%	58	0	37	21	3	0	0
2023年度	72	72	72	100.0%	72	0	49	23	0	0	0

2. 分野別内訳

		2021年度	構成比	2022年度	構成比	2023年度	構成比
関連分野	美容師	43	79.6%	48	78.7%	51	70.8%
	アイスタイリスト	8	14.8%	8	13.1%	12	16.7%
	ブライダル・ヘアメイク等	3	5.6%	2	3.2%	9	12.5%
分野外		0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
合計		54	100.0%	58	100.0%	72	100.0%

. 主な就職先 (2023年度実績 順不同)

celilo	TELA HAIR	LIPPS
VISAGE	hair do	Wiz
aL-ter	EYELA	Heilee brow
SOCIE	TRUTH	GRAFF

6-6. 教育課程編成委員会

教育課程編成委員

2024年4月1日現在

名 前	所 属	任 期	種 別
永井 信之	一般社団法人 日本美容師連盟 理事	2023年4月1日～ 2025年3月31日(2年)	①
庄司 学	株式会社 JAGARA 代表取締役 (日本美容師連盟会長)	2023年4月1日～ 2025年3月31日(2年)	③
原口 和也	株式会社イストマネージメントオフィス 代表取締役	2023年4月1日～ 2025年3月31日(2年)	③
西村 広	株式会社トーコン 美容・医療領域新卒事業担当プロデューサー	2023年4月1日～ 2025年3月31日(2年)	③
田村 英介	ジェイ ヘアメイク美容専門学校 校長	2023年4月1日～ 2025年3月31日(2年)	
金子 剛	ジェイ ヘアメイク美容専門学校 副校長	2023年4月1日～ 2025年3月31日(2年)	
水野 雅城	ジェイ ヘアメイク美容専門学校 教務室長	2023年4月1日～ 2025年3月31日(2年)	

委員種別

- ① 業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員
- ② 学会や学術機関等の有識者
- ③ 実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

2023 年度 第 1 回 教育課程編成委員会

日時	2023 年 9 月 27 日 (水) 10 : 00 ~ 11 : 00	場 所	ジェイヘアメイク美容専門学校 6F	進 行	水野
				議 事	関谷

出席者	<外部委員> ・永井 信之 一般社団法人日本美容師連盟理事 種別：① ・庄司 学 株式会社 JAGARA 代表取締役 種別：③ ・西村 広 株式会社トーコン 美容医療領域新卒事業担当プロデューサー 種別：③ ・原口 和也 株式会社イストマネージメントオフィス代表取締役 種別：③ (敬称略/順不動)				
-----	---	--	--	--	--

<学園・学校職員> ・田村 英介 (校長) ・金子 剛 (副校長) ・水野 雅城 (教務就職室室長)
 <オブザーブ参加> ・寅野 綾香 (広報室室長) ・関谷 葵 (美容師科教員)

議題	1. 学生状況および募集状況 2. 教育について 3. 就職関連と指導 4. その他
----	---

○定刻、進行役が開会を宣し上記の通り定足数に足る委員の出席があったので、本委員会は適法に成立した旨を述べ、直ちに議案の審議に入った。

□委員長 (校長) 挨拶

1. 2023 年度運営報告

(1) 学生状況 (年初在籍 148 名)

- ・1 年生 (8 期生) : 年初在籍 76 名 → 退学者 2 名 (退学率 2.6%)
- ・2 年生 (7 期生) : 年初在籍 72 名 → 退学者 0 名 (退学率 0%)
- ・9/27 現在在籍 146 名 (退学率 1.4%)

委員：退学率が他の美容専門学校と比べ低い印象である。
 委員：退学率の低下の理由にはどのようなことが考えられるか。
 学校：学生に対する「理不尽の撤廃」を目標に学校運営をしている。また日常で交流の少ない学生同士を集めたお茶会の導入が退学率の低下に繋がっていると考えられる。
 委員：学生一人当たりに対する教員のマンパワーが重要で、特に放課後等授業外の対応ができていると学生の満足度が高い傾向にある。

(2) 24 年度入学生募集状況 (9/27 現在)

新名称	旧名称	受験見込
総合型選抜 (1 期・2 期)	AO	60
総合型選抜 (3 期見込み)	AO	16
指定校推薦型選抜 (見込み)	指定校推薦	1
公募推薦型選抜 (見込み)	学校推薦	2
合計 (定員 80)		79

学校：今年度の募集は順調だが、次年度に繋がる高校 2 年生の動員減が課題である。

2. 教育について

(1) 授業改善アンケート (年 2 回実施)

【授業理解度】・【話し方】・【授業運営】・【情熱・誠意・公平】の 4 項目をすべての課目、講師でアンケートを実施
 評価項目 ①良かった ②割と良かった ③あまり良くなかった ④悪かった

・各期末 (9 月・2 月) 実施予定

・前年度実績

<前期プラス回答 (①+②)> <後期プラス回答 (①+②)>
 →1年生 (7期生)・・・96.5% →1年生 (7期生)・・・97.0%
 →2年生 (6期生)・・・96.3% →2年生 (6期生)・・・97.8%

学校：今年度前期のアンケートは現在集計中である。

(2) 授業編成

・本年度より2年次のヘアメイク専攻向けに『アイブロウおよびまつ毛エクステンションの実践授業』を実施

(3) 8期生専攻内訳 (前年比)

ヘアスタイリスト専攻 40名	ヘアメイク専攻 34名		
	・ヘアメイク ・メイク検定1級	・まつエク検定 ・メイク検定1級	・まつエク検定 ・まつエク実践
40名 (+7)	16名 (-4)	13名 (-3)	5名 (+2)

委員：高校生受けだけを意識した募集活動をする、入学後ヘアメイク専攻を選ぶ学生が多くなる印象がある。スタイリスト専攻が半数を超えているということは、健全な募集と学校運営ができていない証拠だろう。ヘアメイクを専攻する学生のうち、ヘアメイク志望者はその職種に対する具体的なイメージができていない傾向にあり、退学率にも繋がってくる。

学校：新卒時にヘアメイクの仕事だけで生計を立てることは難しいということ、学生募集の時点で伝えている。

委員：今の美容業界ではヘアメイクの仕事量と求人数のバランスが取れていないが、近い将来アイラッシュと兼任することで、ヘアメイクアップアーティストとして活躍できる場が増えていくだろう。

3. 就職関連と指導

<内定状況> ※9/27 現在

	県内	県外	全体
前年度最終	63.8%	36.2%	58名/61名 (95.1%)
本年度	46名 (71.9%)	18名 (28.1%)	64名/72名 (88.9%)

*前年度県外：茨城1・埼玉3・神奈川3・東京14

<職種別内定先> ※9/27 現在

	美容師	アイスタイリスト	ブライダル	BA	レセプション
前年度最終	82.8%	13.8%	ヘアメイク 1.7% ・ 貸衣装 1.7%		
本年度	45名 (70.3%)	10名 (15.6%)	7名 (10.9%)	1名 (1.6%)	1名 (1.6%)

<活動状況> 未内定者8名内訳

- ・受験中4名
- ・都内美容室志望活動中3名
- ・県内アイサロン志望活動中1名

委員：ブライダルサロンの内定者は、就職活動前からブライダルを希望していたのか、それともヘアメイクの希望者が最終的にブライダルサロンを選んだのか。

学校：ブライダルの人気は毎年一定数あり、入学時からブライダルを希望している学生も多い。本校に入学を決める学生は特に美容師免許を活かしたブライダル併設サロンへの就職が多い。

委員：メンズサロンが増えているが、就職希望者も増えているのか。

学校：現状は増えていない。最初に就職するサロンとして、顧客対象を男性に限定するという決断をする学生が少ない。

4. その他

(1) 国家試験課題について

学校：まつ毛エクステンションおよびオールウェーブセッティングに関する厚生労働省の方針を伝達。

委員：オールウェーブセッティングは本当に役に立たないのか。

委員：そう感じている現役美容師は多いだろう。

(2) 外国人留学生キャリア形成促進プログラム認定制度について

学校：現在申請中ではある。本制度については学事課ではなく文部科学省との直接のやり取りとなる。

委員：特区との違いは何か。

学校：現在美容師の特区は5年就労に限られるが、就労ビザの発行が緩和するようだ。

・次回は2024年3月19日（火）を予定とする

以上

2023 年度 第 2 回 教育課程編成委員会

日時	2024 年 3 月 19 日 (火) 13:30~14:30	場所	ジェイヘアメイク美容専門学校 6F	進行	水野
				議事	高橋
出席者	<外部委員> ・永井 信之 一般社団法人日本美容師連盟理事 種別：① ・庄司 学 株式会社 JAGARA 代表取締役 種別：③ ・西村 広 株式会社トーコン美容医療領域新卒事業担当プロデューサー 種別：③ ・原口 和也 株式会社イストマネージメントオフィス代表取締役 種別：③ (敬称略/順不動)				
	<学園・学校職員>・田村 英介 (校長)・金子 剛 (副校長)・水野 雅城 (教務就職室長) <オブザーブ参加>・高橋 慶太 (広報学務室長)				
議題	1.学生状況および募集状況 2.教育について 3.就職関連と指導 4.その他				
議事録	<p>○定刻、進行役が開会を宣し上記の通り定足数に足る委員の出席があったので、本委員会は適法に成立した旨を述べ、直ちに議案の審議に入った。</p> <p>○委員長挨拶 本年度新たな委員で始まった本委員会も二回目を迎えた。開催方法等にも協力いただき、ここまで運営することができたことへの感謝を伝え、引続き教育の充実と人材育成に尽力していくことを報告した。</p> <p>1. 2023 年度運営報告</p> <p>■学生状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2023 年度年初在籍 148 名について、学生動向や中退率などについて報告。 <p>■募集状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2024 年度生の募集状況について、新入生数等を報告。 <p>委員：業界の担い手として、高校生や中学生に向けた学校の取り組みに協力していきたい。</p> <p>委員：18 歳人口の減少に伴い美容業界の成り手減少も懸念されるが、手に職をつける考え方は依然人気のようだ。</p> <p>2. 教育について</p> <p>■授業改善アンケート</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前期および後期の集計結果について報告。 <p>委員：全体的に授業評価が高いようだが、何か特別工夫していることはあるのか。</p> <p>学校：1 年生はタブレットを導入した授業が定着し、2 年生は特に国家試験への対策が評価されているだろう。</p> <p>3. 就職関連と指導</p> <p>■内定状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県内企業、県外企業についての内訳と県外企業の県別内訳を報告。 ・業界内での職種別について内訳を報告。 ・月毎の内定取得率について報告。 <p>学校：本年度は国家試験対策が始まる 11 月にはほぼ就職活動を終わることができた。</p> <p>委員：サロン側としてもリクルートの動きは早まっているように感じる。</p> <p>委員：ヘアメイクの人気は依然高いが、受け入れ先企業がまだまだ少ないように感じる。</p> <p>委員：ブライダルヘアメイクについて、求人では謳ってはいるがごく限られた人材のみが携われるケースもあるようだ。</p> <p>学校：本校でもブライダルの志望者が多かった。実際に業務に携われる環境か、卒業後も注視していく。</p> <p>4. その他</p> <p>■E ラーニングおよびオンライン授業について</p> <p>委員：特にネイル業界では E ラーニングやオンライン教育の需要が高く、評価されているようだ。</p> <p>委員：通信制高等学校も一般的になる中、いかに通わずして学ぶかが業界全体としての課題だろう。</p> <p>委員：美容室でのオンライン教材の導入は、まだ一般的と言える程普及していない。</p> <p>学校：タブレット活用の利便性を学生が体感して卒業していくことで、少しずつ現場にも普及していくかもしれない。</p>				

委員：学校も現場も、デジタル端末で育ってきた人材が進学や就職してくることを見据える必要があるだろう。

*次回は2024年9月20日（金）を予定とする

以上

6-7. 学校関係者評価委員会

学校関係者評価委員（2024年度）

2024年4月1日現在

名前	所属	任期	種別
永井 信之	一般社団法人 日本美容師連盟	2023年4月1日～ 2025年3月31日(2年)	業界団体
片岡 新一朗	有限会社アルター代表取締役（日本美容師連盟会長）	2023年4月1日～ 2025年3月31日(2年)	企業等委員
原口 和也	株式会社イストマネージメントオフィス 代表取締役	2023年4月1日～ 2025年3月31日(2年)	企業等委員
西村 広	株式会社トーコン 美容・医療領域新卒事業担当プロデューサー	2023年4月1日～ 2025年3月31日(2年)	企業等委員
佐久間 勝彦	千葉経済大学附属高等学校	2023年4月1日～ 2025年3月31日(2年)	高校関係

6-8. 教職員研修

1. 研修方針

業界の動向や、現在のニーズに合った専門知識と技術の向上を図り、学校教育や指導に活かしていく。

研修実績（2023年度）

期間	研修名	内容	対象	区分*
5/9～6/3	美容師養成施設 教員資格認定研修会	・化粧品科学 化粧品概論 化粧品原料・基礎化粧品・スキンヘア製品 メイクアップ用化粧品 ■公益社団法人 日本理容美容教育センター	美容師科 教員	専門 実務
8/21～9/1	美容師養成施設 教員資格認定研修会	・文化論 日本の理容業、美容業の歴史 ファッション文化史 日本編 ファッション文化史 西洋編 ■公益社団法人 日本理容美容教育センター	美容師科 教員	専門 実務
10/4～10/20	理容師・美容師養成施設 教員資格認定研修会	・保健 理容師法/美容師法 消化器系/呼吸器系/骨格器系/感覚器系 皮膚の構造・人体の構造および機能 ■公益社団法人 日本理容美容教育センター	美容師科 教員	専門 実務

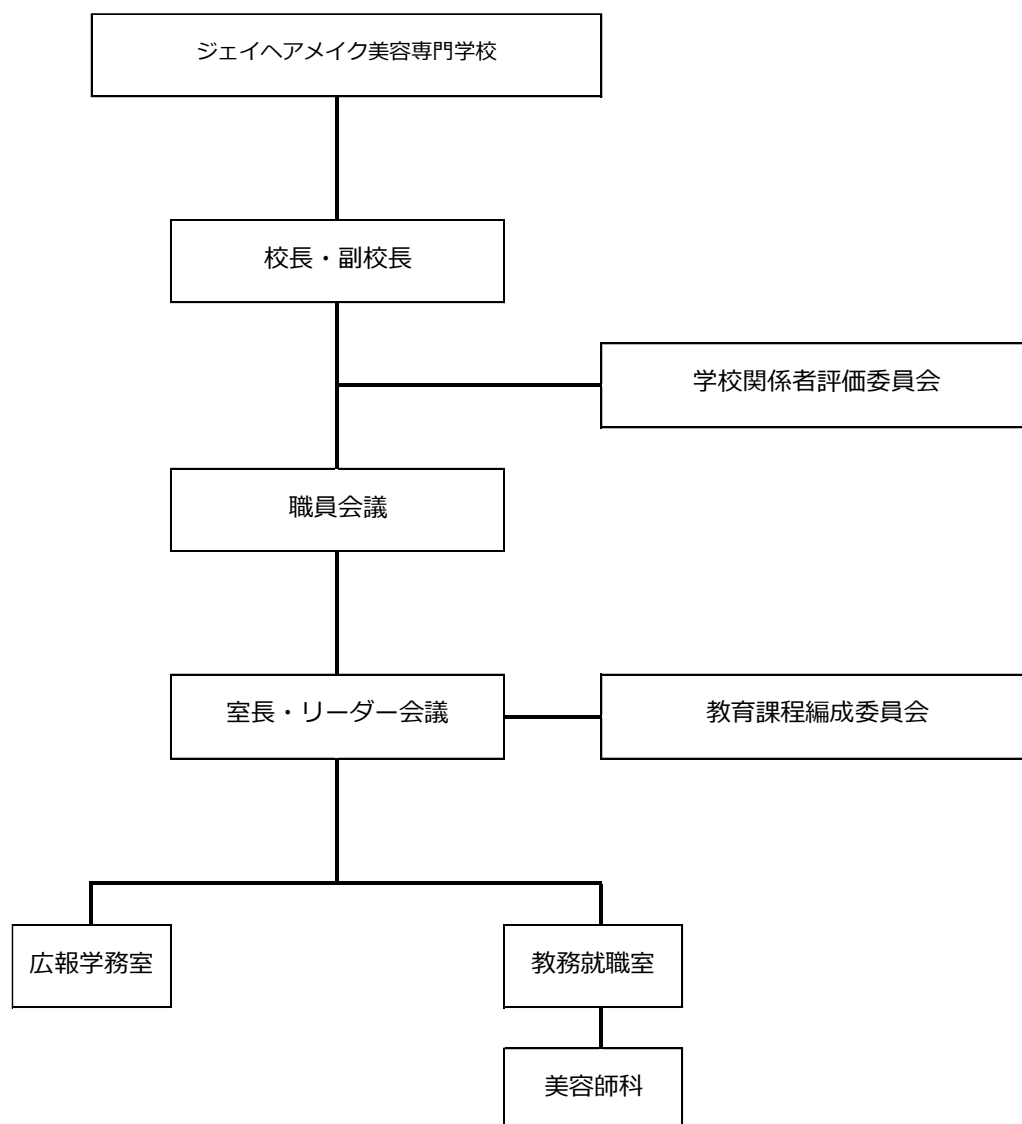
6-9. 教職員・講師

○教職員数

男女別		専任	兼任	専任・兼任計
教員	女	4	7	11
	男	4	3	7
	計	8	10	18
職員	女	3	0	3
	男	2	0	2
	計	5	0	5
合計		13	10	23

専任教職員職名別	人数
校長	1
副校長	1
室長	2
一般職	9
合計	13

○教職員の組織



○教員の専門性

氏名	専任	兼任	担当課目	専門資格・実務経験・所属等
田村 英介	○		関係法規・制度	大学法学部卒
水野 雅城	○		美容技術理論/美容実習/保健/衛生管理 化粧品科学/ヘアスタイリスト専攻/ ヘアメイク専攻サロンワーク メイクアップ/トータルビューティー カウンセリング	美容師免許 日本理容美容教育センター美容技術理論実習研修修了 日本理容美容教育センター保健研修修了 日本理容美容教育センター化粧品科学研修修了 日本理容美容教育センター衛生管理実習研修修了
関谷 葵	○		関係法規/美容技術理論/美容実習/衛生 管理/文化論/ヘアスタイリスト専攻/ ヘアメイク専攻サロンワーク/メイクアッ プ/トータルビューティー/カウンセリング	美容師免許 日本理容美容教育センター衛生管理実習研修修了 日本理容美容教育センター美容技術理論実習研修修了 日本理容美容教育センター文化論研修修了 JBCA認定教員
東岸 尚徳	○		美容技術理論/運営管理/美容実習 ヘアスタイリスト専攻/ヘアメイク専攻 サロンワーク/メイクアップ/トータル ビューティー/カウンセリング	美容師免許 日本理容美容教育センター美容技術理論実習研修修了 日本理容美容教育センター運営管理研修修了
木全 雄一	○		美容技術理論/運営管理/美容実習/化粧品 科学/ヘアスタイリスト専攻/ヘアメイ ク専攻サロンワーク/メイクアップ/ト ータルビューティ/カウンセリング	美容師免許 日本理容美容教育センター美容技術理論実習研修修了 日本理容美容教育センター運営管理研修修了 日本理容美容教育センター化粧品科学研修修了
伊藤 玲茄	○		美容技術理論/美容実習/保健/化粧品科 学/文化論/ヘアスタイリスト専攻/ ヘアメイク専攻サロンワーク メイクアップ/トータルビューティー カウンセリング	美容師免許 日本理容美容教育センター美容技術理論実習研修修了 日本理容美容教育センター保健研修修了 日本理容美容教育センター化粧品科学研修修了 日本理容美容教育センター文化論研修修了
三輪 洋子	○		文化論/美容技術理論/美容実習 ヘアスタイリスト専攻/ヘアメイク専攻 サロンワーク/メイクアップ/トータル ビューティー/カウンセリング	美容師免許 美容師の実務経験10年 日本理容美容教育センター文化論研修修了
安齋 孝子		○	トータルビューティー	JAA認定アロマインストラクター/TCカラー認定ゴールドトレーナー
栄 正一		○	デッサン	(社)日本ICTスクール協会理事 絵画教室としての実務経験3年以上 理容師免許 理容師としての実務経験8年
足立 洋子		○	ヘアメイク専攻	美容師免許
露木 里枝		○	ヘアメイク専攻	美容師免許
杉山 智明		○	ヘアメイク専攻/メイクアップ	コスメティックアクターアカデミー協会 ブラック
福田 希央		○	ヘアメイク専攻/メイクアップ	コスメティックアクターアカデミー協会 ブラック
森田 茉凜		○	ヘアメイク専攻/メイクアップ	コスメティックアクターアカデミー協会 ゴールド
高橋 之子		○	美容実習(着付け講習)	美容師免許
田中 みゆき		○	IT	コンピューターサービス技能評価試験1級資格
永田 浩美		○	保健	薬剤師
橋本 紫織		○	化粧品化学	大学院理学研究科卒 中学理科教員免許